

船舶事故等調査報告書

平成22年3月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第246号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成21年6月20日 07時00分ごろ	
発生場所	香川県直島町直島南東方沖積浦港北防波堤北沖灯台から真方位125° 1.4海里付近 (概位 北緯34° 26.6′ 東経134° 01.5′)	
事故等調査の経過	平成21年9月10日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第八末広丸、731トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 134668、船越産業株式会社</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、四級海技士（航海） 機関長、四級海技士（機関）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	主機過給機（以下「過給機」という。）のノズルリング割損、タービン翼曲損、ケーシング摩耗等	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか5人が乗り組み、空船で、広島県呉港を兵庫県姫路港に向けて出港した。</p> <p>本船は、直島沖を航行中、平成21年6月20日07時00分ごろ、過給機が異音を発したので、主機回転数を下げて航行し、11時40分ごろ姫路港に入港した。</p> <p>本船は、姫路港において主機製造業者が点検を行った結果、前記損傷が判明し、過給機が新替えされた。</p>	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風力 3	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>① 過給機ノズルリングは、平成19年1月に新替えされていた。</p> <p>② 本事故前に排気温度等の運転諸元に異常はなかった。</p> <p>③ ノズルリングが割損し、ノズルリング取付けボルトが1本脱落し、5本折損していた。</p> <p>④ 主機吸排気弁の欠損片等が過給機に飛び込んだ形跡はなかった。</p> <p>これらのことから、本船は、過給機ノズルリングが排気ガスによる熱や振動等の影響を受けて割損し、同リング取付けボルトに折損等が生じたため、破損片がタービン内に飛び込んでタービン翼曲損等が損傷した可能性があると考えられる。</p>

原因	本インシデントは、本船が直島沖を航行中、過給機ノズルリングが割損し、ノズルリングの取付けボルトに折損等が生じたため、破損片がタービン内に飛び込んでタービン翼等が損傷したことにより発生したものと考えられる。
----	--